

## 事例No.24 通信モジュール内蔵の車両総合管理ツールによる業務効率化と質向上

農業・林業  
漁業

事業所名 企業名	桑栄運輸株式会社 公式ホームページ：http://www.ymtg.co.jp/group/soei-unyu/index.html				
所在地	桑名市	従業員数	約45名	産業分類	道路貨物運送業

建設業

### 【事例の詳細】

機能	車両総合管理	使用 機器等	通信モジュール内蔵ツール
取組 内容	<p>輸送用トラックに通信モジュールを内蔵した車両総合管理ツール「UD-テレマティクス」を10年ほど前から導入し始めました。</p> <p>ドライバーの運行状況や位置がリアルタイムで確認できるので、配車計画に利用したり国土交通省に提出する運行日報を作成したりしています。また、ドライバーの運転が詳細に記録されるので、教育や人事考課の資料としても活用しています。</p>		
	通信モジュールを内蔵した車両総合管理ツール「UD-テレマティクス」		
導入 プロセス	<p>以前はアナログタコメーターを使用し、ドライバーの連絡も無線で行っていましたが、記録がアナログのため配車計画に手間と時間がかかっていました。また無線免許所有者が退職すると、新たに免許所有者を確保する必要がありました。</p> <p>時間と手間がかかる配車計画・日報作成などの効率化を進めたいと考え、また三重県トラック協会の役員であったこともあり、積極的に先進的な取り組みをしたいと考え導入しました。</p>		
成果 効果	<p>ドライバーの安全意識が高まり、顧客の信頼を得ることができました。安全性優良事業所の基準をクリアしているため、認定（Gマーク）も受けています。また、内勤スタッフの配車計画・日報作成などの業務を効率化できました。インターネットの環境があれば、外出先のパソコンやタブレットからも運行状況などの確認ができるため、業務を効率的に行うことができます。</p> <p>今後の取り組みとして、ドライバーの居眠りや体調不良について、早期に発見・検知できるウェアラブル端末の開発ができないかと考えています。日常的、継続的に使用するためには、できるだけ操作が少ないもの（ヘッドギアなど）である必要がありますが、技術的に健康器具メーカーなどでないと開発できません。運輸業全体の課題でもあるため、協会や国土交通省などが主導して開発してほしいと考えています。</p>		

製造業

情報通信業

運輸業・郵便業

卸売業・小売業

金融業・保険業

飲食サービス業  
宿泊業

生活関連サービス業・娯楽業

### 【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	

医療・福祉

その他